

いのちの言の葉2025

富山県教育委員会 令和7年度いのちの教育総合支援事業

「いのちの授業（助産師）」
朝日町立あさひ野小学校（令和7年10月実施）

「いのち」

「いのちの先生」の話

①いのちの誕生

いのちの始まりの大きさ、受精卵がどのように育っていくのか

②大切ないのち

一人一人がかかけがえない存在であること、家族の愛情に包まれて誕生したこと、たくさんの人から受けた愛情を感じ、いのちを大切にしてほしいこと



【児童のメッセージ】

ぼくを産んでくれてありがとうございます。お母さんは、ぼくが元気に育つためにがんばっていたんだね。お父さんは、ぼくが生まれるまでお母さんのそばにいてくれていたんだね。

これからも健康に気を付けて支えてくれたらうれしいです。

【児童のメッセージ】

命の授業を受けて、自分が生まれてきたことは「きせき」で、たくさんの人に支えてもらえたことで今の自分がいると思いました。ぼくが生まれるときに支えてくれた人に感謝の気持ちを100倍で返したいと思いました。ぼくを生んでくれたお母さん、それを支えてくれた皆にとっても感謝しています。ありがとう。

【保護者のメッセージ】

元気に育ってくれて、ありがとう。あなたのメッセージに「感謝の気持ちを返したい」とあったけど、お父さんとお母さんはもうたくさんの幸せをもらっているよ。

たくさんの人たちから愛されていること、守られていることを忘れてないでね。